

## 平成 28 年度 高松圏域認知症疾患医療センター研修会 「認知症ライフサポート研修」の実施報告

平成 28 年 11 月 5 日（土）認知症ライフサポート研修を香南町コミュニティセンターで開催しました（大西病院共催）。

認知症ライフサポートモデルというのは、平成 23 年度に開催された「認知症サービス提供の現場からみたケアモデル研究会」により考案された、認知症ケアの多職種協働モデルです。医療も介護も認知症の人の生活の支援の一部と捉え、専門職同士がお互いの役割や機能を理解しながら統合的なケアを提供していくことを目指しています。



今回は、いわき病院のある香南町を中心に専門職の方々にご案内をし、27 名の方が参加してくれました。テキストの流れに沿って、映像を見ながらグループワークを進めていきました。認知症が進んでしまってから介入する「手遅れ型支援」、早期から多職種が協働、介入し認知症の方のニーズを理解しただけ長く続けられる「備え型支援」への気づき、課題等を各グループで話し合い、意見交換しました。



研修会終了後にはアンケートをお願いし、皆さんから「役に立った」「興味をもてた」「視野が広がった」等回答を頂きました。一方で、多職種協働について、「多職種が集まって協議する場が少ない」「それぞれの職種の専門性の強み弱みの共有・理解不足がある」等課題があるという意見もありました。

「多職種の顔の見える連携体制が作れる機会を今後も作って欲しい」という意見も頂き、認知症ライフサポート研修が、多職種が集まって意見交換でき、関係作りの場として活用していけたらと思います。

今年度は、平成 29 年 2 月～3 月頃に 2 回目の認知症ライフサポート研修を一宮地区で開催を考えています。お互いの専門性を知り、また新たな出会いの場になれるように皆さんのご参加をお待ちしております。